

04 宿舎の業務紹介

- 建物が完成してから、長く使っていくためには技術が必要です。
- 適切に維持管理をしなければ、建物の寿命は短くなってしまいます。建設したのが自分達だからこそ、愛着を持って大切に接していきます。

- 工事では、代理人をはじめ、様々な職人と関わります。
- 発注者として、適切に工事を監理し、一流の技術を持つ職人の力を存分に発揮してもらっています。
- 竣工したら、設計図通りに完成しているか検査を行います。

- 宿舎の工事は、公共工事です。
- 発注には、公平性・公正性のほか、価格、品質を求めていく必要があります。
- 発注・契約にも技術に関する知識は欠かせません。



- 国有地を有効に活用し、必要な場所に、適切な規模で宿舎の整備を図ります。
- 宿舎が老朽化すれば、延命措置や建替・集約化の検討が必要となります。
- 財務技官は、宿舎の企画の段階から、宿舎設置や改修計画の立案に参画します。

- 宿舎設置計画を形にするのが「設計」です。
- 宿舎の仕様を決定する基準作りから始まり、現地調査、敷地調査など地域の特性を十分に把握したうえで設計に生かします。
- 建物を新築するのみならず、長く建物を使用するために必要な改修、新たな形に生まれ変わらせるリノベーションと、財務技官の関わる設計の種類は多岐にわたります。

- 設計図を基に、工事等に係る国の適正価格を算出するのが「積算」です。
- 材料・作業にどのくらいの費用がかかるのか、ひとつひとつ積み上げていきます。
- 一元たりとも無駄にできないからこそ、しっかりと積み上げる必要があります。

04 宿舎の業務紹介



計画から現場監理まで、
敷地の形状、地域性を活かした設計、
家族が安心して快適に生活できる空間を追求します。

住空間を 創る

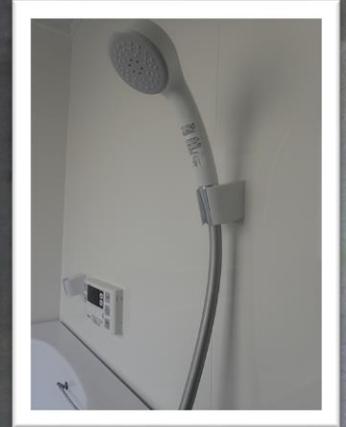
04 宿舎の業務紹介



東日本大震災等の大規模地震を踏まえ、蓄積された技術を生かし、最も効率的な工法で、必要かつ適切な耐震改修工事を実施しています。

安全確保に
取り組む

04 宿舎の業務紹介



after



before

時代の要求に 応える

時を歩んできた建物をより有効利用するために、また、ライフスタイルの変化へ対応するために、リノベーションに取り組んでいます。